

評価年月日：2022 / 10 / 18

この評価シートは、全16項目で構成されています。それぞれの項目について、評価をお願いいたします。

(該当するもののチェックボックスまたはラジオボタンをクリックして、☑または◎にしてください)

■項目1 レビューの際、リサーチ・クエスチョンと組入れ基準に PICOの要素を含めたか？

評価用資料における記載位置：帳票 Review protocol 項目4-7

Yesの場合	選択項目 (推奨)	
<input checked="" type="checkbox"/> 参加者 TRUE	<input type="checkbox"/> フォローアップ期間 FALSE	<input checked="" type="radio"/> Yes <input type="radio"/> No
<input checked="" type="checkbox"/> 介入 TRUE		
<input checked="" type="checkbox"/> コントロール群 TRUE		
<input checked="" type="checkbox"/> アウトカム TRUE		

項目1 自由記述欄：

■項目2 レビューの報告に、レビュー実施前にその方法を決定したことを明示し、重大な計画変更があれば正当な理由を示したか？

評価用資料における記載位置：帳票SR-0 項目2 (レビュー・クエスチョン)、帳票SR-1 (検索戦略)、帳票SR-0 項目4-7 (組入れ/除外基準)、帳票SR0 項目11およびバイアスリスク評価、帳票SR-0 項目12 (メタ分析の計画)、帳票SR-0 項目13 (異質性の原因を探る計画)

Partial Yesの場合	Yesの場合	
著者は以下のすべてを含むプロトコルや基準があることを明示する：	Partial Yesの場合に加え、プロトコルが事前に登録され、また特定されるべき：	<input type="radio"/> Yes <input checked="" type="radio"/> Partial Yes <input type="radio"/> No
<input checked="" type="checkbox"/> レビュー・クエスチョン TRUE	<input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じて、メタ分析/併合の計画 TRUE	
<input checked="" type="checkbox"/> 検索戦略 TRUE	および	
<input checked="" type="checkbox"/> 組入れ/除外基準 TRUE	<input checked="" type="checkbox"/> 異質性の原因を探る計画 TRUE	
<input checked="" type="checkbox"/> バイアスリスク評価 TRUE	<input type="checkbox"/> プロトコルからの何らかの逸脱に対する妥当性 FALSE	

項目2 自由記述欄：

■項目3 レビュー著者は、レビューに組入れる際の研究デザインの選択基準について説明したか？		
評価用資料における記載位置：帳票SR-0 項目3		
Yesの場合、そのレビューは以下の1つを満たすべきである：		
<input type="checkbox"/> RCTのみを組入れたことの説明	FALSE	<input checked="" type="radio"/> Yes <input type="radio"/> No
<input type="checkbox"/> または、NRSI*のみを組入れたことの説明 *NRSI：非ランダム化ヘルスケア介入研究 (Non-Randomised Studies of healthcare Interventions)	FALSE	
<input checked="" type="checkbox"/> または、RCTとNRSIの両方を組入れたことの説明	TRUE	
項目3 自由記述欄：		

■項目4 レビュー著者は、網羅的な文献検索の手法を用いたか？				
評価用資料における記載位置：帳票SR-1、帳票SR-3（二次スクリーニングの対象文献一覧）				
Partial Yesの場合（以下のすべて）：		Yesの場合、次も必要（以下のすべて）：	<input type="radio"/> Yes <input checked="" type="radio"/> Partial Yes <input type="radio"/> No	
<input checked="" type="checkbox"/> 少なくとも2つのデータベースで検索した （リサーチ・クエスチョンに関して）	TRUE	<input checked="" type="checkbox"/> 検索した参考文献リスト／組入れた研究の文献一覧		TRUE
<input checked="" type="checkbox"/> キーワードと検索戦略を示した	TRUE	<input checked="" type="checkbox"/> 検索した試験／研究登録データベース		TRUE
<input checked="" type="checkbox"/> 出版形態の制限の正当性を示した（例：言語）	TRUE	<input type="checkbox"/> 検索で組入れた／相談したその分野の専門家		FALSE
		<input type="checkbox"/> 関連する場合は、検索した灰色文献		FALSE
		<input checked="" type="checkbox"/> レビュー完成の24ヵ月以内に検索を実施した	TRUE	
項目4 自由記述欄：Additional records identified through other sourcesの内訳が、検索で組み入れた/相談したその分野の専門家なのか、gray literatureなのか判断できませんでした。				

■項目5 レビュー著者は、複数人で研究選択を行ったか？		
評価用資料における記載位置：帳票SR-0 項目9、帳票SR-3 M-P列		
Yesの場合、以下のいずれか1つを含む：		
<input checked="" type="checkbox"/> 少なくとも2人のレビュアーが、基準を満たす研究の選択について独立して合意し、組入れる研究について合意形成した	TRUE	<input checked="" type="radio"/> Yes <input type="radio"/> No
<input type="checkbox"/> または、2人のレビュアーが基準を満たす研究のサンプルを選択し、良好な一致度（少なくとも80%）に至り、残りは1人のレビュアーによって選択された	FALSE	
項目5 自由記述欄：		

■項目6 レビュー著者は、複数人でデータ抽出を行ったか？		
評価用資料における記載位置：帳票SR-0 項目10、帳票SR-3、帳票「定性的要約」		
Yesの場合、以下のいずれか1つを含む：		
<input checked="" type="checkbox"/> 少なくとも2人のレビューアールが、組み入れられた研究から抽出するデータについて合意形成した	FALSE	<input checked="" type="radio"/> Yes <input type="radio"/> No
<input type="checkbox"/> または、2人のレビューアールが基準を満たす研究のサンプルからデータを抽出し、良好な一致度（少なくとも80%）に至り、残りは1人のレビューアールによって抽出された	FALSE	
項目6 自由記述欄：		

■項目7 レビュー著者は、除外した研究のリストを提示し、その除外が正当である理由を示したか？		
評価用資料における記載位置：帳票SR-2、帳票SR-3、帳票「バイアスリスク評価」		
Partial Yesの場合：	Yesの場合、次も含まなければならない：	
<input checked="" type="checkbox"/> 除外されたがフルペーパーとして十分に読み込まれたすべての潜在的に関連する研究のリストを提供した	TRUE	<input checked="" type="checkbox"/> 潜在的に関連する研究についてレビューから除外したことの正当性を示した
		TRUE
<input checked="" type="radio"/> Yes <input type="radio"/> Partial Yes <input type="radio"/> No		
項目7 自由記述欄：		

■項目8 レビュー著者は、組み入れた研究を十分に詳細に記述したか？				
評価用資料における記載位置：帳票SR-3、帳票「定性的要約」				
Partial Yesの場合（以下のすべて）：	Yesの場合、次も必要（以下のすべて）：			
<input checked="" type="checkbox"/> 参加者の記載	TRUE	<input checked="" type="checkbox"/> 詳細な参加者の記載	TRUE	<input type="radio"/> Yes <input checked="" type="radio"/> Partial Yes <input type="radio"/> No
<input checked="" type="checkbox"/> 介入の記載	TRUE	<input checked="" type="checkbox"/> 詳細な介入の記載（関連する投与量も含む）	TRUE	
<input checked="" type="checkbox"/> 比較対照の記載	TRUE	<input checked="" type="checkbox"/> 詳細な比較対照の記載（関連する投与量も含む）	TRUE	
<input checked="" type="checkbox"/> アウトカムの記載	TRUE	<input type="checkbox"/> 研究の場所の記載	FALSE	
<input checked="" type="checkbox"/> 研究デザインの記載	TRUE	<input type="checkbox"/> フォローアップ期間の記載	FALSE	
項目8 自由記述欄：				

■項目 9 レビュー著者は、レビューに組入れた各研究のバイアスリスク評価に際し、満足のいく手法を用いたか？

評価用資料における記載位置：帳票「バイアスリスク評価」

RCT

Partial Yesの場合、以下の状態のバイアスリスクが評価されていなければならない：		Yes の場合、以下の状態のバイアスリスクも評価されていなければならない：		<input type="radio"/> Yes <input checked="" type="radio"/> Partial Yes <input type="radio"/> No <input type="radio"/> Includes only NRSI
<input checked="" type="checkbox"/> 隠蔽されていない割振り、および	TRUE	<input checked="" type="checkbox"/> 曝露とアウトカムを確認するために使用された方法、および	TRUE	
<input checked="" type="checkbox"/> アウトカムを評価する際の、参加者と評価者のブラインディングの欠如 (すべての死亡原因のような客観的なアウトカムの場合には不要)	TRUE	<input type="checkbox"/> ある特定のアウトカムについて多重測定や多重解析から報告された結果の選択	FALSE	

項目9 RCT 自由記述欄：

NRSI

Partial Yesの場合、以下の状態のバイアスリスクが評価されていなければならない：		Yes の場合、以下のバイアスリスクも評価されていなければならない：		<input type="radio"/> Yes <input type="radio"/> Partial Yes <input type="radio"/> No <input checked="" type="radio"/> Includes only RCT
<input type="checkbox"/> 交絡因子、および	FALSE	<input type="checkbox"/> 曝露とアウトカムを確認するために使用された方法、および	FALSE	
<input type="checkbox"/> 選択バイアス	FALSE	<input type="checkbox"/> ある特定のアウトカムについて多重測定や多重解析から報告された結果の選択	FALSE	

項目9 NRSI 自由記述欄：

■項目 10 レビュー著者は、レビューに組入れた研究に対する資金源を報告したか？

評価用資料における記載位置：帳票「バイアスリスク評価」 19行目

Yesの場合：		<input checked="" type="radio"/> Yes <input type="radio"/> No
<input checked="" type="checkbox"/> レビューに組入れられた個々の研究の資金源が報告されなければならない (注：レビュアーがこの情報を採したが、著者によって報告されていない場合は、そのように報告する)	TRUE	

項目10 自由記述欄：

■項目 11 メタ分析が行われた場合、レビュー著者は、結果の統計的併合において適正な方法を用いたか？

評価用資料における記載位置：帳票SR-0 項目12&13、帳票SR5-1

RCT		
Yesの場合：		<input checked="" type="radio"/> Yes <input type="radio"/> No <input type="radio"/> No meta-analysis conducted <input type="radio"/> Includes NRSI
<input checked="" type="checkbox"/> 著者はメタ分析でデータ併合を正しく行った	TRUE	
<input checked="" type="checkbox"/> そして、研究結果の併合に適した重みづけ法を用い、存在する場合には異質性を調整した	TRUE	
<input checked="" type="checkbox"/> そして、異質性の原因について調べた	TRUE	

項目11 RCT 自由記述欄：

NRSI		
Yesの場合：		<input type="radio"/> Yes <input type="radio"/> No <input type="radio"/> No meta-analysis conducted <input checked="" type="radio"/> Includes only RCT
<input type="checkbox"/> 著者はメタ分析でデータ併合を正しく行った	FALSE	
<input type="checkbox"/> そして、研究結果の併合に適した重みづけ法を用い、存在する場合には異質性を調整した	FALSE	
<input type="checkbox"/> そして、生データを併合するのではなく、交絡因子を調整した NRSI からの効果量推定値を統計的に併合した、または調整された効果量推定値が利用できなかった場合に生データを併合することの正当性を示した	FALSE	
<input type="checkbox"/> そして、RCTと NRSIの両方をレビューに組み入れた場合、それぞれに分けて効果量を報告した	FALSE	

項目11 NRSI 自由記述欄：

■項目 12 メタ分析が行われた場合、レビュー著者は、各研究のバイアスリスクがメタ分析や他の統合結果に与える影響について評価したか？

評価用資料における記載位置：帳票SR-5 (High risk of bias 研究を除外してメタ分析を実施している)

Yesの場合：		<input checked="" type="radio"/> Yes <input type="radio"/> No <input type="radio"/> No meta-analysis conducted
<input checked="" type="checkbox"/> 低から中バイアスリスクの RCT のみを用いた	TRUE	
<input type="checkbox"/> あるいは、プールされた効果量に高バイアスリスクの RCTを含む場合、または NRSIに基づく場合、要約効果量におけるバイアスリスクの影響を調べる分析を行った	FALSE	

項目12 自由記述欄：

■項目 13 レビュー著者は、レビュー結果の解釈や考察をする際にバイアスリスクを考慮したか？

評価用資料における記載位置：帳票「checklist」一式、および帳票「エビデンスプロファイル」。グレードを下げる要因にバイアスリスクを含んでいる。

Yesの場合：

- | | | |
|---|-------|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 低バイアスリスクの RCT のみを用いた | FALSE | <input checked="" type="radio"/> Yes |
| <input checked="" type="checkbox"/> または、中から高バイアスリスクの RCT や NRSI をレビューに組み入れた場合、結果におけるバイアスリスクの影響を考察した | TRUE | <input type="radio"/> No |

項目13 自由記述欄：

■項目 14 レビュー著者は、レビュー結果にみられるいかなる異質性に対しても、満足のいく説明や考察を行ったか？

評価用資料における記載位置：帳票 SR5-1 subgroup analysis、「エビデンスプロファイル」非一貫性のある場合は確実性を下げている、推奨文「調査結果（有効性）」の項目

Yesの場合：

- | | | |
|---|-------|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 結果において有意な異質性はなかった | FALSE | <input checked="" type="radio"/> Yes |
| <input checked="" type="checkbox"/> または、異質性があった場合、結果における異質性の原因を調べ、レビュー結果に与える異質性の影響を考察した | TRUE | <input type="radio"/> No |

項目14 自由記述欄：

■項目 15 量的な統合がなされた場合、レビュー著者は出版バイアス（小規模研究バイアス）について十分な検討、およびレビュー結果に与える影響の可能性を考察したか？

評価用資料における記載位置：帳票SR-7-2、帳票「エビデンスプロファイル」にて出版バイアスを認める場合は確実性を下げている

Yesの場合：

- | | | |
|--|------|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 出版バイアスに対するグラフィック的または統計的検定を行い、出版バイアスの影響の程度を考察した | TRUE | <input checked="" type="radio"/> Yes |
| | | <input type="radio"/> No |
| | | <input type="radio"/> No meta-analysis conducted |

項目15 自由記述欄：

■項目 16 レビュー著者は、レビュー実施に際して受領した財源を含め、考えられる利益相反について報告したか？

評価用資料における記載位置：経済的COIとアカデミックCOIの一覧表

Yesの場合：

レビュー著者は利益相反がないことを報告した

FALSE

Yes

または、レビュー著者は資金源を記述し、潜在的な利益相反にどのように対処したかを記載した

TRUE

No

項目16 自由記述欄：

以 上

出典：上岡洋晴 他. (2018) 「AMSTAR 2：ヘルスケア介入のランダム化または非ランダム化研究あるいは両方を含むシステマティック・レビューのための厳密な評価ツール」の紹介と解.薬理と治療 46:111-113. を元に一部を改変して作成

評価年月日：初回評価 2022/10/12、再評価 2022/10/28

この評価シートは、全16項目で構成されています。それぞれの項目について、評価をお願いいたします。

(該当するもののチェックボックスまたはラジオボタンをクリックして、またはにしてください)

初回評価に対するSRチームからの返答 (22.10.14) :

外部評価をありがとうございます。全16項目のうち評価結果がNoとなっていた項目を修正しました。項目7と8も結果がわかりにくいとのことでしたので修正しました。返答内容および帳票の修正部分は赤字で記しました。推奨文へのコメントもありがとうございます。頂いたコメントに沿って今後修正させていただきます。ただ、推奨文自体はAGREE2による外部評価を、AMSTARでの評価(システムティックレビューの外部評価)が終わった後に受ける計画となっていますので、今回の返答での修正対応はしていません。ご理解頂きますと幸いです。

■項目1 レビューの際、リサーチ・クエスチョンと組入れ基準に PICOの要素を含めたか？

評価用資料における記載位置：帳票 Review protocol 項目4-7

Yesの場合	選択項目 (推奨)	
<input checked="" type="checkbox"/> 参加者 TRUE	<input checked="" type="checkbox"/> フォローアップ期間 TRUE	<input type="radio"/> Yes <input checked="" type="radio"/> No
<input checked="" type="checkbox"/> 介入 TRUE		
<input type="checkbox"/> コントロール群 FALSE		
<input checked="" type="checkbox"/> アウトカム TRUE		

項目1 自由記述欄：Research Questionは、general physical trainingまたはPlaceboにたいしての優位性を検証するとあるが、そうであればinclusion criteriaでcontrol intervention においてno trainingを含めるのは問題があるのではないと思われる。

【22.10.14】ご指摘ありがとうございます。Review questionの内容をデータ抽出前に更新していたことを失念しており、記載内容に誤りがありました。Review Procotol 項目2 "(1) In healthy adults, does neurofeedback training (NFT) generally improve motor performance?" を追記しましたのでご確認をお願いいたします。No interventionをcontrolに含めたのは、このreview questionを満たすためです。

【外部評価委員再評価コメント】ご返信ありがとうございます。修正については了解しました。一般成人に対する研究についてはコントロールのない研究を含めたという点では、ご記載のRQが追加されていれば矛盾はないと思います。一方で、PICOを含めたかというチェック項目に関しては、このRQについてはやはりCが含まれていないと考えざるを得ないと思います。ですので、部分的にNoという回答に変更させていただきたいと存じます。

■項目2 レビューの報告に、レビュー実施前にその方法を決定したことを明示し、重大な計画変更があれば正当な理由を示したか？

評価用資料における記載位置：帳票SR-0 項目2 (レビュー・クエスチョン)、帳票SR-1 (検索戦略)、帳票SR-0 項目4-7 (組入れ/除外基準)、帳票SR0 項目11およびバイアスリスク評価、帳票SR-0 項目12 (メタ分析の計画)、帳票SR-0 項目13 (異質性の原因を探る計画)

Partial Yesの場合	Yesの場合	<input checked="" type="radio"/> Yes <input type="radio"/> Partial Yes <input type="radio"/> No
著者は以下のすべてを含むプロトコルや基準があることを明示する：	Partial Yesの場合に加え、プロトコルが事前に登録され、また特定されるべき：	
<input checked="" type="checkbox"/> レビュー・クエスチョン TRUE	<input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じて、メタ分析/併合の計画 TRUE	
<input checked="" type="checkbox"/> 検索戦略 TRUE	および	
<input checked="" type="checkbox"/> 組入れ/除外基準 TRUE	<input checked="" type="checkbox"/> 異質性の原因を探る計画 TRUE	
<input checked="" type="checkbox"/> バイアスリスク評価 TRUE	<input checked="" type="checkbox"/> プロトコルからの何らかの逸脱に対する妥当性 TRUE	

項目2 自由記述欄：項目1で述べた問題があるが、それを除けば手順の記載としては問題はないと思われる（ただし、上記のごとくその手順に重大な瑕疵があると考えられる）

【22.10.14】ご指摘ありがとうございます。AMSTAR項目1への返答内容の通り、No interventionをcontrolに含めたのは、"(1) In healthy adults, does neurofeedback training (NFT) generally improve motor performance?"を満たすためです。

【外部評価委員再評価コメント】ありがとうございます。項目1の内容が記載されていますので、Yesに変更いたします。

■項目3 レビュー著者は、レビューに組入れる際の研究デザインの選択基準について説明したか？

評価用資料における記載位置：帳票SR-0 項目3

Yesの場合、そのレビューは以下の1つを満たすべきである：			<input checked="" type="radio"/> Yes <input type="radio"/> No
<input checked="" type="checkbox"/> RCTのみを組入れたことの説明	TRUE		
<input type="checkbox"/> または、NRSI*のみを組入れたことの説明 *NRSI：非ランダム化ヘルスケア介入研究 (Non-Randomised Studies of healthcare Interventions)	FALSE		
<input type="checkbox"/> または、RCTとNRSIの両方を組入れたことの説明	FALSE		

項目3 自由記述欄：

■項目4 レビュー著者は、網羅的な文献検索の手法を用いたか？

評価用資料における記載位置：帳票SR-1、帳票SR-3（二次スクリーニングの対象文献一覧）

Partial Yesの場合（以下のすべて）：		Yesの場合、次も必要（以下のすべて）：		<input type="radio"/> Yes <input checked="" type="radio"/> Partial Yes <input type="radio"/> No	
<input checked="" type="checkbox"/>	少なくとも2つのデータベースで検索した （リサーチ・クエスチョンに関して）	TRUE	<input checked="" type="checkbox"/> 検索した参考文献リスト／組入れた研究の文献一覧		TRUE
<input checked="" type="checkbox"/>	キーワードと検索戦略を示した	TRUE	<input checked="" type="checkbox"/> 検索した試験／研究登録データベース		TRUE
<input checked="" type="checkbox"/>	出版形態の制限の正当性を示した（例：言語）	TRUE	<input type="checkbox"/> 検索で組入れた／相談したその分野の専門家		FALSE
			<input type="checkbox"/> 関連する場合は、検索した灰色文献		FALSE
			<input checked="" type="checkbox"/> レビュー完成の24ヵ月以内に検索を実施した	TRUE	

項目4 自由記述欄：

■項目5 レビュー著者は、複数人で研究選択を行ったか？

評価用資料における記載位置：帳票SR-0 項目9、帳票SR-3 M-P列

Yesの場合、以下のいずれか1つを含む：		<input checked="" type="radio"/> Yes <input type="radio"/> No
<input checked="" type="checkbox"/>	少なくとも2人のレビュアーが、基準を満たす研究の選択について独立して合意し、組入れる研究について合意形成した	
<input type="checkbox"/>	または、2人のレビュアーが基準を満たす研究のサンプルを選択し、良好な一致度（少なくとも80%）に至り、残りは1人のレビュアーによって選択された	FALSE

項目5 自由記述欄：

■項目6 レビュー著者は、複数人でデータ抽出を行ったか？

評価用資料における記載位置：帳票SR-0 項目10、帳票SR-3、帳票「定性的要約」

Yesの場合、以下のいずれか1つを含む：		<input checked="" type="radio"/> Yes <input type="radio"/> No
<input checked="" type="checkbox"/>	少なくとも2人のレビュアーが、組入れられた研究から抽出するデータについて合意形成した	
<input type="checkbox"/>	または、2人のレビュアーが基準を満たす研究のサンプルからデータを抽出し、良好な一致度（少なくとも80%）に至り、残りは1人のレビュアーによって抽出された	FALSE

項目6 自由記述欄：

■項目7 レビュー著者は、除外した研究のリストを提示し、その除外が正当である理由を示したか？

評価用資料における記載位置：帳票SR-2、帳票SR-3 除外理由の列、帳票「定性的要約」（NRSを理由にメタアナリシスから除外された9件）、帳票「バイアスリスク評価」（High RoBを理由にメタアナリシスから除外された2件）

Partial Yesの場合：	Yesの場合、次も含まなければならない：	<input checked="" type="radio"/> Yes <input type="radio"/> Partial Yes <input type="radio"/> No
<input checked="" type="checkbox"/> 除外されたがフルペーパーとして十分に読み込まれたすべての潜在的に関連する研究のリストを提供した TRUE	<input type="checkbox"/> 潜在的に関連する研究についてレビューから除外したことの正当性を示した FALSE	

項目7 自由記述欄：SR-2 テンプレートの記載における最終的な除外理由と、各論文との関連性がわかりにくく、最終的に含まれた論文が何なのかが非常にわかりにくいです。また、推奨文の図表とSR-2のテンプレート記載は数字が異なるようです。そのため、十分に評価できていない可能性があります。

【22.10.14】ご指摘ありがとうございます。SR-2の内容に誤りがあったため内容を更新しました。加えて、SR-3のPQ列に二次スクリーニングとメタアナリシスからの個別論文の除外理由を、SR-2の最終的な除外理由と対応するように記載しました。

【外部評価委員再評価コメント】SR-3の追記項目は大変わかりやすかったです。Yesに変更しています。

■項目8 レビュー著者は、組み入れた研究を十分詳細に記述したか？

評価用資料における記載位置：帳票SR-3、帳票「定性的要約」

Partial Yesの場合（以下のすべて）：	Yesの場合、次も必要（以下のすべて）：	<input checked="" type="radio"/> Yes <input type="radio"/> Partial Yes <input type="radio"/> No
<input type="checkbox"/> 参加者の記載 FALSE	<input type="checkbox"/> 詳細な参加者の記載 FALSE	
<input checked="" type="checkbox"/> 介入の記載 TRUE	<input type="checkbox"/> 詳細な介入の記載（関連する投与量も含む） FALSE	
<input checked="" type="checkbox"/> 比較対照の記載 TRUE	<input type="checkbox"/> 詳細な比較対照の記載（関連する投与量も含む） FALSE	
<input checked="" type="checkbox"/> アウトカムの記載 TRUE	<input type="checkbox"/> 研究の場所の記載 FALSE	
<input checked="" type="checkbox"/> 研究デザインの記載 TRUE	<input type="checkbox"/> フォローアップ期間の記載 FALSE	

項目8 自由記述欄：SR-2 テンプレートの記載における最終的な除外理由と、各論文との関連性がわかりにくく、最終的に含まれた論文が何なのかが非常にわかりにくいです。また、推奨文の図表とSR-2のテンプレート記載は数字が異なるようです。そのため、十分に評価できていない可能性があります。

【22.10.14】ご指摘ありがとうございます。SR-2の内容に誤りがあったため内容を更新しました。加えて、SR-3のPQ列に二次スクリーニングとメタアナリシスからの個別論文の除外理由を、SR-2の最終的な除外理由と対応するように記載しました。

【外部評価委員再評価コメント】追記ありがとうございます。よくわかりました。数値的にも齟齬はないと思います。

■項目9 レビュー著者は、レビューに組入れた各研究のバイアスリスク評価に際し、満足のいく手法を用いたか？
 評価用資料における記載位置：帳票「バイアスリスク評価」

RCT		
Partial Yesの場合、以下の状態のバイアスリスクが評価されていないといけない：	Yes の場合、以下の状態のバイアスリスクも評価されていないといけない：	<input type="radio"/> Yes <input type="radio"/> Partial Yes <input checked="" type="radio"/> No <input type="radio"/> Includes only NRSI
<input type="checkbox"/> 隠蔽されていない割振り、および FALSE	<input checked="" type="checkbox"/> 曝露とアウトカムを確認するために使用された方法、および TRUE	
<input type="checkbox"/> アウトカムを評価する際の、参加者と評価者のブラインディングの欠如 (すべての死亡原因のような客観的なアウトカムの場合には不要) FALSE	<input checked="" type="checkbox"/> ある特定のアウトカムについて多重測定や多重解析から報告された結果の選択 TRUE	
項目9 RCT 自由記述欄：Paul et al., 2009に関するbias評価が記載ありません 【22.10.14】大変申し訳ありません。Paul et al., 2009のbias評価の結果を記載しました。 【外部評価委員再評価コメント】 追記確認いたしました。		

NRSI		
Partial Yesの場合、以下の状態のバイアスリスクが評価されていないといけない：	Yes の場合、以下のバイアスリスクも評価されていないといけない：	<input type="radio"/> Yes <input type="radio"/> Partial Yes <input type="radio"/> No <input checked="" type="radio"/> Includes only RCT
<input type="checkbox"/> 交絡因子、および FALSE	<input type="checkbox"/> 曝露とアウトカムを確認するために使用された方法、および FALSE	
<input type="checkbox"/> 選択バイアス FALSE	<input type="checkbox"/> ある特定のアウトカムについて多重測定や多重解析から報告された結果の選択 FALSE	
項目9 NRSI 自由記述欄：		

■項目10 レビュー著者は、レビューに組入れた研究に対する資金源を報告したか？
 評価用資料における記載位置：帳票「バイアスリスク評価」 19行目

Yesの場合：	<input checked="" type="radio"/> Yes <input type="radio"/> No
<input checked="" type="checkbox"/> レビューに組入れられた個々の研究の資金源が報告されなければならない (注：レビュアーがこの情報を探したが、著者によって報告されていない場合は、そのように報告する) TRUE	
項目10 自由記述欄：	

■項目 11 メタ分析が行われた場合、レビュー著者は、結果の統計的併合において適正な方法を用いたか？

評価用資料における記載位置：帳票SR-0 項目12&13、帳票SR5-1

RCT

Yesの場合：		<input checked="" type="radio"/> Yes <input type="radio"/> No <input type="radio"/> No meta-analysis conducted <input type="radio"/> Includes NRSI
<input checked="" type="checkbox"/> 著者はメタ分析でデータ併合を正しく行った	TRUE	
<input checked="" type="checkbox"/> そして、研究結果の併合に適した重みづけ法を用い、存在する場合には異質性を調整した	TRUE	
<input checked="" type="checkbox"/> そして、異質性の原因について調べた	TRUE	

項目11 RCT 自由記述欄：

NRSI

Yesの場合：		<input type="radio"/> Yes <input type="radio"/> No <input type="radio"/> No meta-analysis conducted <input checked="" type="radio"/> Includes only RCT
<input type="checkbox"/> 著者はメタ分析でデータ併合を正しく行った	FALSE	
<input type="checkbox"/> そして、研究結果の併合に適した重みづけ法を用い、存在する場合には異質性を調整した	FALSE	
<input type="checkbox"/> そして、生データを併合するのではなく、交絡因子を調整した NRSI からの効果量推定値を統計的に併合した、または調整された効果量推定値が利用できなかった場合に生データを併合することの正当性を示した	FALSE	
<input type="checkbox"/> そして、RCTと NRSIの両方をレビューに組み入れた場合、それぞれに分けて効果量を報告した	FALSE	

項目11 NRSI 自由記述欄：

■項目 12 メタ分析が行われた場合、レビュー著者は、各研究のバイアスリスクがメタ分析や他の統合結果に与える影響について評価したか？

評価用資料における記載位置：帳票SR-5（High risk of bias 研究を除外してメタ分析を実施している）

Yesの場合：		<input checked="" type="radio"/> Yes <input type="radio"/> No <input type="radio"/> No meta-analysis conducted
<input checked="" type="checkbox"/> 低から中バイアスリスクの RCT のみを用いた	TRUE	
<input type="checkbox"/> あるいは、プールされた効果量に高バイアスリスクの RCT を含む場合、または NRSI に基づく場合、要約効果量におけるバイアスリスクの影響を調べる分析を行った	FALSE	

項目12 自由記述欄：

■項目13 レビュー著者は、レビュー結果の解釈や考察をする際にバイアスリスクを考慮したか？		
評価用資料における記載位置：帳票「checklist」一式、および帳票「エビデンスプロファイル」。グレードを下げる要因にバイアスリスクを含んでいる。		
Yesの場合：		
<input type="checkbox"/> 低バイアスリスクの RCT のみを用いた	FALSE	<input checked="" type="radio"/> Yes <input type="radio"/> No
<input checked="" type="checkbox"/> または、中から高バイアスリスクの RCT や NRSI をレビューに組み入れた場合、結果におけるバイアスリスクの影響を考察した	TRUE	
項目13 自由記述欄：		

■項目14 レビュー著者は、レビュー結果にみられるいかなる異質性に対しても、満足のいく説明や考察を行ったか？		
評価用資料における記載位置：帳票 SR5-1 subgroup analysis、「エビデンスプロファイル」非一貫性のある場合は確実性を下げている、推奨文「調査結果（有効性）」の項目		
Yesの場合：		
<input type="checkbox"/> 結果において有意な異質性はなかった	FALSE	<input checked="" type="radio"/> Yes <input type="radio"/> No
<input checked="" type="checkbox"/> または、異質性があった場合、結果における異質性の原因を調べ、レビュー結果に与える異質性の影響を考察した	TRUE	
項目14 自由記述欄：		

■項目15 量的な統合がなされた場合、レビュー著者は出版バイアス（小規模研究バイアス）について十分な検討、およびレビュー結果に与える影響の可能性を考察したか？		
評価用資料における記載位置：帳票SR-7-2、帳票「エビデンスプロファイル」にて出版バイアスを認める場合は確実性を下げている		
Yesの場合：		
<input checked="" type="checkbox"/> 出版バイアスに対するグラフィック的または統計的検定を行い、出版バイアスの影響の程度を考察した	TRUE	<input checked="" type="radio"/> Yes <input type="radio"/> No <input type="radio"/> No meta-analysis conducted
項目15 自由記述欄：		

■項目16 レビュー著者は、レビュー実施に際して受領した財源を含め、考えられる利益相反について報告したか？		
評価用資料における記載位置：経済的COIとアカデミックCOIの一覧表		
Yesの場合：		
<input type="checkbox"/> レビュー著者は利益相反がないことを報告した	FALSE	<input checked="" type="radio"/> Yes <input type="radio"/> No
<input checked="" type="checkbox"/> または、レビュー著者は資金源を記述し、潜在的な利益相反にどのように対処したかを記載した	TRUE	
項目16 自由記述欄：		